

StorageTek LTO 1U ラックマウント 型メディアトレイ

リファレンスガイド

LTO

ORACLE®

製品番号 :E38510-01-JA
リリース日付 :2013 年 2 月

本書に対するコメントは、STP_FEEDBACK_US@ORACLE.COM までご連絡ください。

Oracle は、本書の改善に役立つお客様のご意見やご感想をお待ちしております。STP_FEEDBACK_US@ORACLE.COM までご連絡ください。ご意見、ご感想をお寄せいただく際には、ドキュメントのタイトルと製品番号、発行日、およびリビジョンを含めるようにしてください。

Copyright © 2013 Oracle and/or its affiliates. 無断転載を禁じます。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りがないことの保証はいたしかねます。誤りにお気づきの場合は、書面にて Oracle までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントが、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供される場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS プログラム、ソフトウェア、データベース、および米国政府機関の顧客に提供された関連ドキュメントと技術データは、適用可能な連邦調達規則と機関固有の補足規則に基づいた「商用コンピューターソフトウェア」または「商用技術データ」です。そのようなものとして、使用、複製、開示、修正、および改変することは、適用可能な政府契約に規定されている制限およびライセンス契約の条件、および政府契約の条件、FAR 52.227-19、商用コンピューターソフトウェアライセンス (2007 年 12 月) に規定されている追加権限によって適用可能な範囲に従うものとします。Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアまたはハードウェアは、さまざまな情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、本質的に危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle は、Oracle Corporation および関連会社の登録商標です。Oracle および Java は、Oracle およびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。Intel および Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. によってライセンス提供された登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、およびドキュメントは、サードパーティのコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。Oracle およびその関連会社は、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスに関して、種類を問わず、すべての保証に対して責任を負わず、これを明示的に否認します。Oracle およびその関連会社は、サードパーティのコンテンツ、製品、またはサービスへのアクセスまたはそれらの使用によって生じたいかなる損失、費用、および損害に対しても責任を負いません。

目次

本書について.....	5
対象読者.....	5
表記上の規則および記号.....	5
ラックに関する注意.....	6
テクニカルサポート.....	6
Web サイト.....	6
1 概要.....	7
標準機能.....	7
SAS ケーブル接続における推奨事項.....	7
メディアトレイのコンポーネント.....	8
メディアトレイのフロントパネルのコンポーネント.....	8
メディアトレイのリアパネルのコンポーネント.....	8
メディアトレイ内部のコンポーネント (図は SAS バージョン).....	9
2 デバイスの取り付け.....	11
2 台のデバイスの配線.....	13
SAS デバイス.....	13
SCSI デバイス.....	13
1 つの SCSI バスに 2 台のデバイス.....	13
1 つの SCSI バスに 1 台のデバイス.....	14
3 ラックへの設置.....	17
レールマウントキット.....	17
必要な工具.....	17
メディアトレイのラックへの取り付け.....	17
はじめる前に.....	18
コンポーネントレールの取り付け.....	18
ラックレールの取り付け.....	18
丸穴または四角穴が付いたラックへの取り付け.....	18
10-32 ネジ穴のあるラックへの取り付け.....	19
取り付け作業の仕上げ.....	21
A 静電気対策.....	23
静電気放電の防止.....	23
静電気による損傷を防止するためのアースの方法.....	23
B 仕様.....	25
索引.....	27

本書について

本書では、以下について説明します。

- ラックマウント型メディアトレイの機能とコンポーネント
- メディアトレイのラックへの取り付け
- 仕様

対象読者

このガイドは、以下についての知識があるシステム管理者を対象としています。

- ストレージシステム
- バックアップシステム

表記上の規則および記号

表 1 表記上の規則

規則	要素
ミディアムブルーの語句： ☒	クロスリファレンスリンクおよび電子メールアドレス
ミディアムブルーの下線付き語句 (http://www.oracle.com)	Web サイトアドレス
太字	<ul style="list-style-type: none">• アプリケーション名および強調すべき語句
括弧 ([]) で表示	<ul style="list-style-type: none">• キー名• ボックスなどの GUI で入力される文字列• クリックおよび選択される GUI (メニューおよびリスト項目、ボタン、チェックボックス)
Monospace フォント	<ul style="list-style-type: none">• ファイル名およびディレクトリ名• システム出力• コード• コマンドラインで入力した文字列
イタリック体の Monospace フォント	<ul style="list-style-type: none">• コード変数• コマンドライン変数
太字体の Monospace フォント	<ul style="list-style-type: none">• ファイル名、ディレクトリ名、システム出力、コード、コマンドラインで入力される文字列の強調

警告! その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。

注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの消失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要: 詳細情報または特定の手順を示します。

注記: 補足情報を示します。

ラックに関する注意

ラックの安定性を保つことにより、けがや装置の損傷を防ぎます。

警告! けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで伸ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックをしっかりと連結してください。
 - ラックコンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
-

テクニカルサポート

各国のサポート窓口の電話番号は、次のサポートの Web サイトで調べることができます。<http://www.oracle.com/us/support/contact.html> (英語)

電話でお問い合わせいただく前に、以下の情報を用意してください。

- 契約番号
- 製品シリアル番号
- 製品のモデル名とモデル番号
- エラーメッセージ
- オペレーティングシステムの種類とバージョン
- 詳細な質問

品質向上のために、お電話を記録またはモニターさせていただくことがあります。

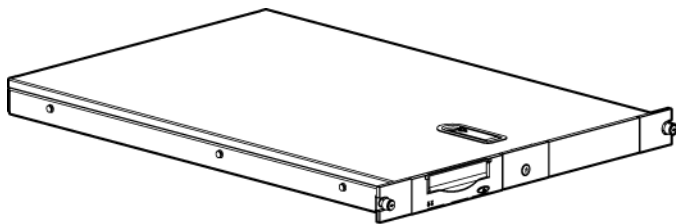
Web サイト

その他の製品情報については、以下の Web サイトを参照してください。

- <http://www.oracle.com> (英語) – 企業 Web サイト
- <http://www.oracle.com/us/products/servers-storage/storage/tape-storage/index.html> (英語) – ストレージ製品
- <http://www.oracle.com/us/support/contact.html> (英語) – サポートの Web サイト
- <http://www.oracle.com/technetwork/documentation/tape-storage-curr-187744.html> (英語) – 製品ドキュメント

1 概要

1U ラックマウント型メディアトレイは、最大 2 台のハーフハイト 5.25 インチのデバイスを収納できるラックマウント型ストレージシステムです。本製品は、ほとんどの標準型 19 インチのラックに対応しています。1U ラックマウント型メディアトレイには、SAS テープドライブ用と SCSI テープドライブ用の 2 つのモデルがあります。



15100

図 1 1U ラックマウント型メディアトレイ

標準機能

1U ラックマウント型メディアトレイの標準機能は、次のとおりです。

- 1 台または 2 台の 5.25 インチハーフハイトデバイスをサポート
- 丸、四角、またはネジ穴などを持つ標準的な 19 インチラックの取り付け

注記: 2 台以上の SCSI バージョンの 1U ラックマウント型メディアトレイのデジチェーン接続はサポートされていません。メディアトレイに収納されたデバイスのデジチェーン接続は、SCSI インターフェイスでのみサポートされています。

注記: 停電後、1U メディアトレイには自動で電源が入ります。

SAS ケーブル接続における推奨事項

注意: テープドライブの転送速度に適合する高品質の外付け SAS ケーブルが必要です。使用する外付け SAS ケーブルが、お使いのコンポーネントのインターフェイスの転送速度に適合していることを常に確認してください。「イコライズ (equalized)」と記述された SAS ケーブルは、6Gb/秒のデータ速度をサポートしていることが確認されている場合を除いて、LTO-6 および LTO-5 テープドライブでは使用しないでください。

下図に示すとおり、SAS インターフェイスボードには 2 つの外部ポートと付属の内部 SAS ケーブルがあり、2 台のデバイスを接続できるようになっています。ケーブル接続にはいくつかの構成が可能ですが、デバイスと外部コネクタ間のレイアウトに最も整合性がある構成として、以下をお勧めします。

ラックの背面から見て、右端のポートがポート 1、左端のポートがポート 2 です。

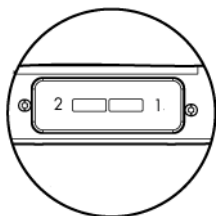


図 2 1U エンクロージャーの外部 SAS ポート

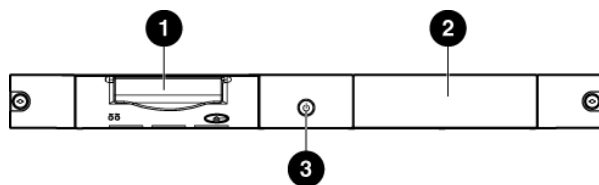
2 台の SAS デバイスが取り付けられている場合、内部ケーブルの右端のコネクタは右側のデバイスに、左端のコネクタは左側のデバイスに接続されます。これにより、右側のデバイスは外部ポート 1 へ、左側のデバイスは外部ポート 2 へ配線されます。

注記: インターフェイスボードには、内部 SAS コネクターの近くにある PCI ボード上に「Port 1-0」および「Port 2-0」と記されていますので、外部ポートへ配線する際の参考にしてください。

注記: すべての LTO-5 以降のテープドライブには SAS ケーブルを通じて電源を供給します。以前のすべてのモデルの LTO テープドライブでは、電源ケーブルが別に必要です。

メディアトレイのコンポーネント

メディアトレイのフロントパネルのコンポーネント

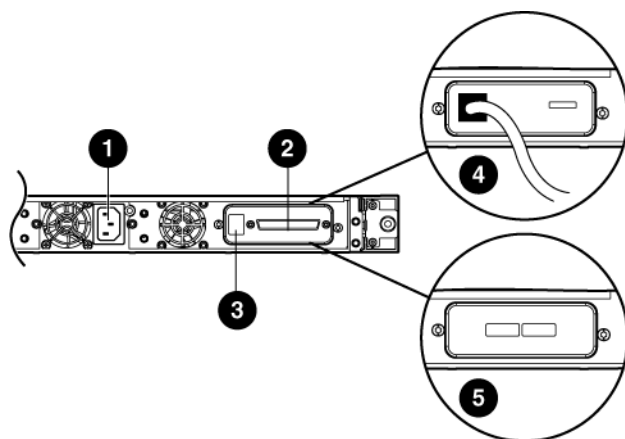


15101

1. デバイス
2. 拡張デバイスベイ
3. 電源スイッチ/LED

図 3 フロントパネルのコンポーネント

メディアトレイのリアパネルのコンポーネント

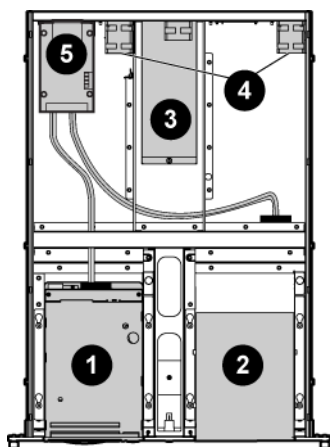


15356

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. AC 電源コネクタ | 2. SCSI コネクタ (SCSI モデル) |
| 3. SCSI ID スイッチ (SCSI モデルのみ) | 4. SAS コネクタ (SAS モデル) |

図 4 リアパネルのコンポーネント

メディアトレイ内部のコンポーネント (図は SAS バージョン)



15355

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. デバイス | 2. デバイスブランク |
| 3. パワーサプライ | 4. ファンアセンブリ (2) |
| 5. SAS リピーターボード (SAS モデルのみ) | |

図 5 内部コンポーネント

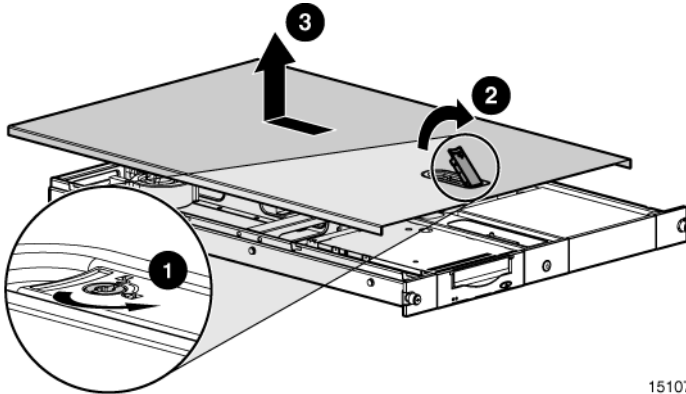
2 デバイスの取り付け

1Uメディアトレイにデバイスを取り付けるには、5mm (3/16インチ) マイナスドライバーまたはT-15ヘックスローブドライバーが必要です。

注意: 静電気による機器の損傷を防ぐために、デバイスを扱う前に静電気対策 (23 ページ) で説明している手順をよく読んでから実行してください。

デバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。

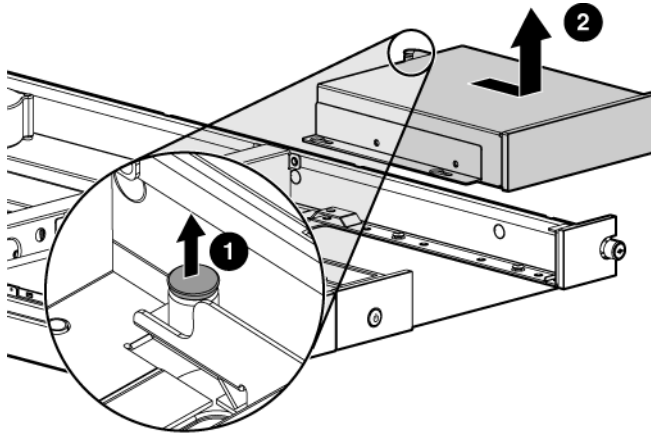
1. 下図に示すとおり、上面のアクセスパネルを取り外します。



15107

図6 アクセスパネルの取り外し

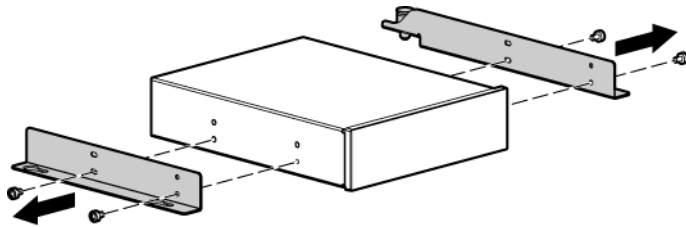
2. 以下の手順でデバイスブランクを取り外します。
 - a. 右側のマウント用レールのバネ付きボタンを引き上げます。
 - b. アセンブリを前方にスライドさせ、持ち上げます。



15104

図7 デバイスブランクの取り外し

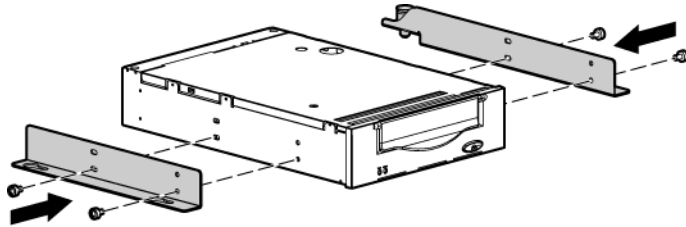
3. デバイスブランクからマウント用ブラケットを取り外します。



15110

図 8 マウント用ブラケットの取り外し

4. デバイスの両側にマウント用ブラケットを取り付けます。

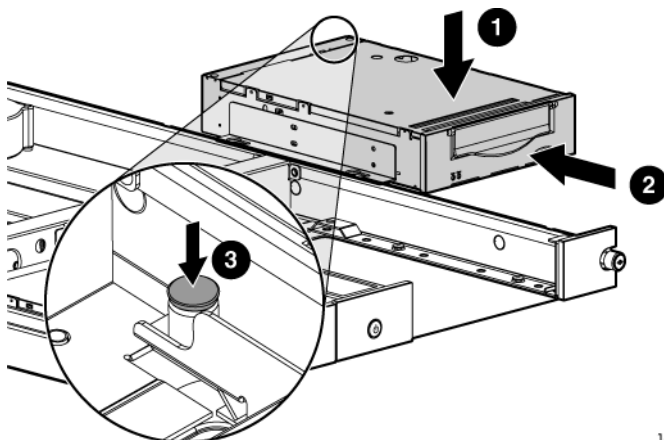


15127

図 9 マウント用ブラケットの取り付け

注意: LTO ハーフハイトテープドライブを取り付ける場合、ドライブに付属する M3 6mm ネジを使用することに注意してください。ネジが長すぎると、装置を損傷して保証が無効になることがあります。ネジを締めすぎないように、ネジバックに含まれているワッシャーを使ってください。

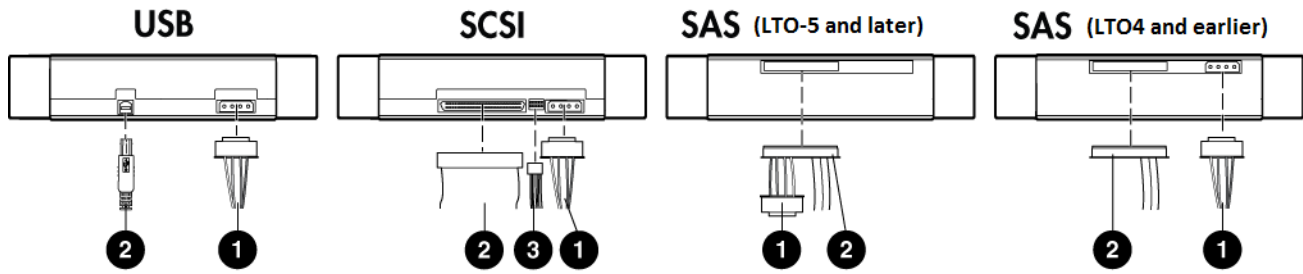
5. 以下の手順で、メディアトレイにデバイスを取り付けます。
 - a. マウント用ブラケットの鍵穴のような溝をマウント用の支柱の位置に合わせます。
 - b. メディアトレイの背面に向かってデバイスをスライドさせます。
 - c. 自動的にバネ付きボタンがはめ込まれます。



15106

図 10 デバイスの取り付け

6. 以下のようにケーブルを接続します。



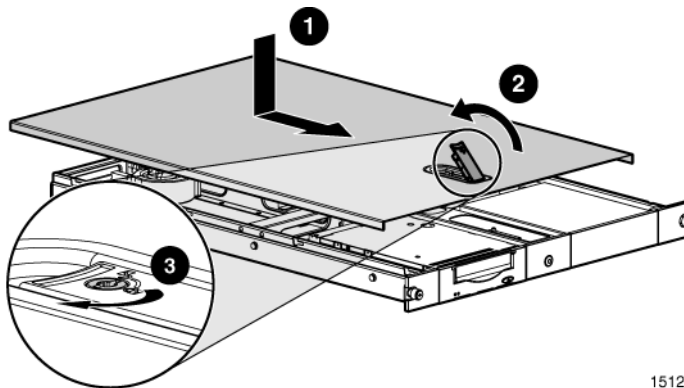
15357

図 11 ケーブルの接続

1. 電源
2. 信号
3. 3SCSI ID セレクタ (SCSI ドライブのみ)

注記: 余ったケーブルは折りたたみ、メディアトレイの内部にあるクリップで固定します。

7. 下図に示すとおり、トップアクセスパネルを元の位置に戻します。



15128

図 12 アクセスパネルの取り付け

2 台のデバイスの配線

1U メディアトレイでは、2 台のデバイスの運用が可能です。

SAS デバイス

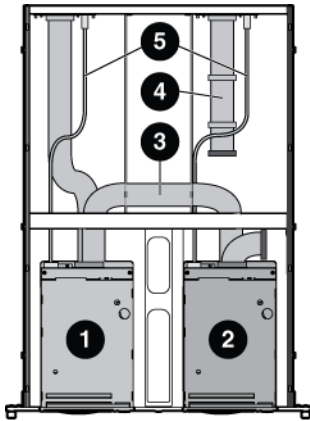
各デバイスは、デバイスをサポートする専用の SAS チャンネルに直接接続する必要があります (例えば、テープドライブデバイスを接続する場合、SAS チャンネルがテープをサポートしていることを確認します)。SAS インターフェイスでは、デジチェーン接続はサポートされていません。

SCSI デバイス

1U メディアトレイは、SCSI バスを 1 つまたは 2 つ使用した 2 台のデバイスの運用をサポートしています。2 本の内部 2 ポート SCSI ケーブルはメディアトレイに取り付けられているので、お客様の構成に従って、SCSI ポートが正しく接続されれば、デバイスの取り付けは完了です。

1 つの SCSI バスに 2 台のデバイス

2 台のデバイスを両方とも同じ SCSI バスに接続する場合、以下の図に示す構成を使用します。



15103

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. デバイス 1 | 2. デバイス 2 |
| 3. SCSI バス 1 ケーブル、ターミネータに最も近い SCSI コネクタはドライブ 2 に、中央コネクタはドライブ 1 に使用 | 4. SCSI バス 2 のケーブル (未使用) |
| 5. SCSI ID ケーブル、各テープドライブに 1 ケーブル | |

図 13 2 台のデバイスの SCSI 構成

注記: SCSI バスを 1 つ使用する構成で 2 台目のデバイスを追加する場合、以下の作業を行います。

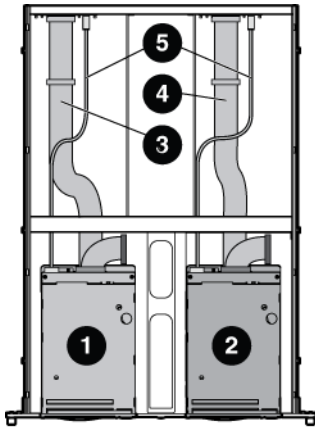
1. デバイス 1 から SCSI ケーブルを取り外します。
2. ケーブルの終端をシャーシ内部の開いている場所に通します。
3. 終端のポートをデバイス 2 に接続します。
4. 中間のポートをデバイス 1 に接続します。

SCSI ターミネータは、ケーブルの終端に付いており、デバイス 2 の背後に置く必要があります。

注記: 同一 SCSI バスの各 SCSI デバイスは、固有の SCSI ID を持っている必要があります。SCSI ID が各デバイスで異なっていることを確認し、そのどれもが SCSI ID 7 に設定されていないことを確認してください。SCSI ID の 7 は、SCSI コントローラーで使用するために予約されています。

1 つの SCSI バスに 1 台のデバイス

各デバイスを別々の SCSI バスに接続する場合、以下の図に示す構成を使用します。



15105

1. デバイス 1

2. デバイス 2

3. SCSIバス1ケーブル、ターミネータに最も近いSCSIコネクタはデバイス1に使用

4. SCSIバス2ケーブル、ターミネータに最も近いSCSIコネクタはデバイス2に使用

5. SCSI ID ケーブル、各テープドライブに1ケーブル

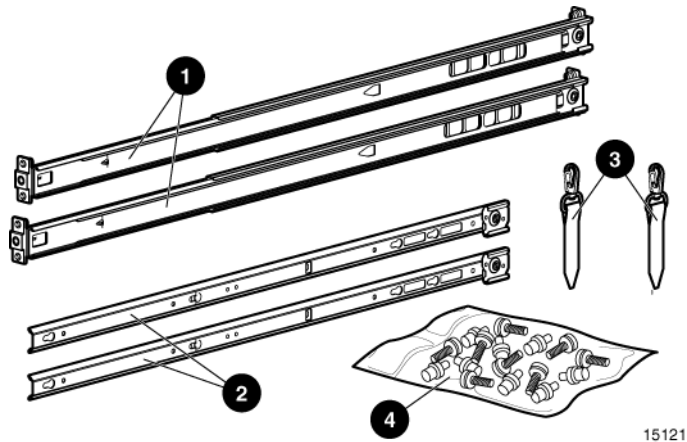
図 14 1 台のデバイスの SCSI 構成

注意: データエラーが起こらないように、SCSIバスにデバイスが1台しかない場合は、そのデバイスはターミネータに最も近いSCSIポートに接続されている必要があります。

3 ラックへの設置

レールマウントキット

1Uラックマウント型メディアトレイに付属しているラックレールは、垂直なマウントバーに、丸穴、四角穴、またはネジ穴のあるラックにユニットを取り付けるために使用します。レールは、前面と背面の垂直マウントバーを区切る58~86cm(23~34インチ)のラックにフィットします。2本のレールは同一ですので、左右どちらのレールにもマウントできます。



- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 外部ラックレール | 2. 内部コンポーネントレール |
| 3. ケーブルサポートクリップ | 4. 各種ネジ |

図 15 レールマウントキットコンポーネント

必要な工具

メディアトレイを垂直マウントバーの印の付いていない穴に取り付ける場合、以下のツールを使用するとわかりやすくなります。

- 鉛筆
- メジャー

垂直マウントバーにネジ穴のあるラックにメディアトレイを取り付ける場合、以下のツールが必要になります。

- 5mm (3/16 インチ) マイナスドライバー

メディアトレイのラックへの取り付け

警告! けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで伸ばしてください。
- ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
- コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

メディアトレイをラックに取り付ける際は、以下の点に注意してください。

- 必ず、ラックの一番下または先に設置したコンポーネントのすぐ上から作業を開始して、下から上に順に設置してください。
- 可能ならば、一番重いコンポーネントを底部に取り付け、軽いコンポーネントほどラックの上部に取り付けます。
- 必ず、ラックマウンティングレールの前部と後部が同じ高さになるようにしてください。

はじめる前に

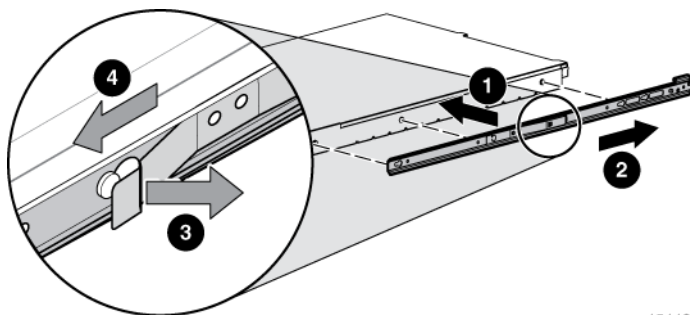
メディアトレイを垂直マウントバーの印の付いていない穴に取り付ける場合、レールの取り付け前に、ラックの正しい取り付け穴を確認して印を付けます。

注意: ラックのコンポーネントを水平に保つことが重要です。1Uメディアトレイが正しく取り付けられたことを確認するには、前面および背面の垂直マウントバーの、正しくマウントする穴の高さを計測することが必要です。

コンポーネントレールの取り付け

コンポーネントレールはメディアトレイに取り付けられ、ラックレールシステムの内部に収まります。

1. 左右のコンポーネントレールのスロット穴を、メディアトレイ (1) の側面にある3本のピンに合わせて挿入します。
2. メディアトレイ (2) の後方に向かって、コンポーネントレールをしっかり固定されるまでスライドさせます。



15118

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. メディアトレイのピン | 2. 後方へのスライド |
| 3. バネ付きタブ | 4. 前方へのスライド |

図 16 レールの取り付け

注記: コンポーネントレールを取り外すには、レール側面のバネ付きタブ(3)を引いて前方(4)へスライドさせます。

重要: 補修などのサービスのため、1Uラックマウント型メディアトレイを返却する場合は、コンポーネントレールを取り外して保管しておきます。

ラックレールの取り付け

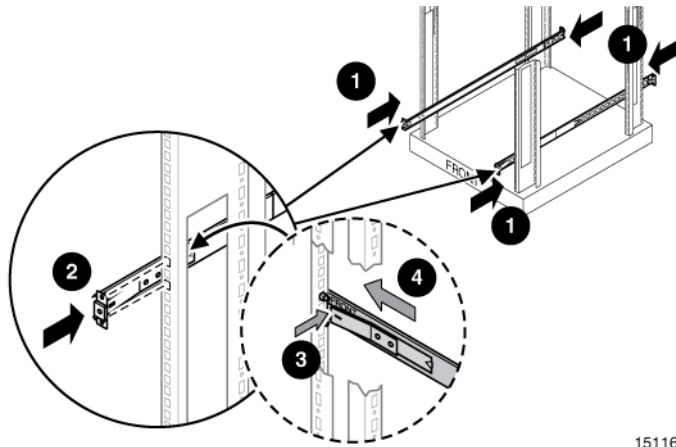
取り付け手順はラックの種類によって異なります。レールは、丸穴または四角穴のあるラックに取り付けできるようにして出荷されます。10-32ネジ穴のあるラックにレールを取り付ける場合、マウントピンをまず取り外す必要があります。ご使用のラックの取り付け方法については、以下のいずれかの項を参照してください。

- 丸穴または四角穴が付いたラックへの取り付け
- 10-32ネジ穴のあるラックへの取り付け

丸穴または四角穴が付いたラックへの取り付け

注記: ラックレールの端には、正しく取り付けられるように FRONT と REAR の印が付いています。

1. 外側のラックレールのマウント板(前側)にあるピンを、ラックの垂直マウントバー(前側)にあらかじめ印を付けた穴へ挿入します。ラックレールはしっかり固定されます。

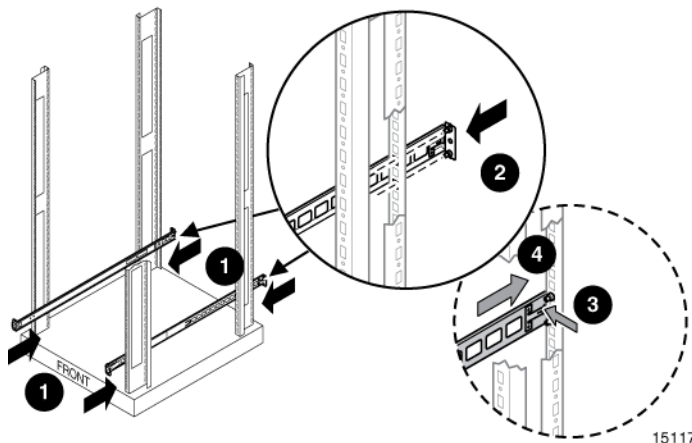


15116

図 17 丸穴または四角穴が付いたラックへのピンの挿入

注記: 位置を調節するためにレールを取り外すには、ラックレールの外側にあるバネ付きタブ (3) を押して、前方へスライド (4) させます。

2. 後方の垂直マウントバーを越すまでラックレールを引き出し、ラックにあらかじめ印を付けた穴にマウンティングブラケットのピンを挿入します。ラックレールは、レールの端が前方へ押されるとしっかりロックされます。



15117

図 18 丸穴または四角穴が付いたラックでのレールの固定

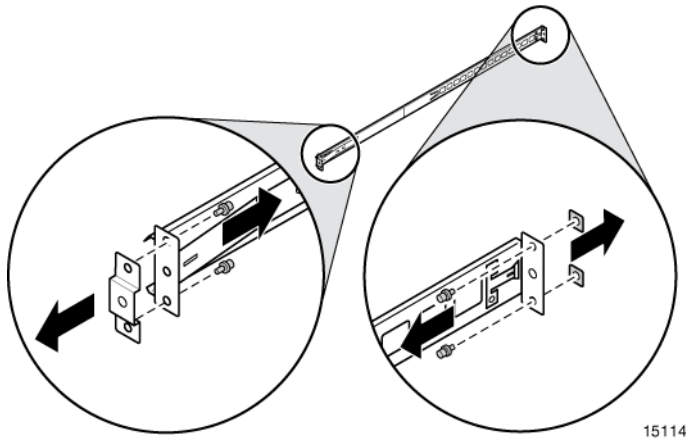
注記: 位置を調節するためにレールを取り外すには、ラックレールの外側にあるバネ付きタブ (3) を押して、後方へスライド (4) させます。

ラックへのレールの取り付けが完了しました。続いて、「取り付け作業の仕上げ」の作業を行います。

10-32 ネジ穴のあるラックへの取り付け

10-32 ネジ穴のある垂直マウントバーのラックへ取り付ける場合は、レールに付いているピンを取り外す必要があります。レールは、お手持ちの 10-32 x .375 ネジで取り付けます。

1. 外側の各ラックレールの両端から、ピンとネジ板を取り外します。取り外した金具は不要です。

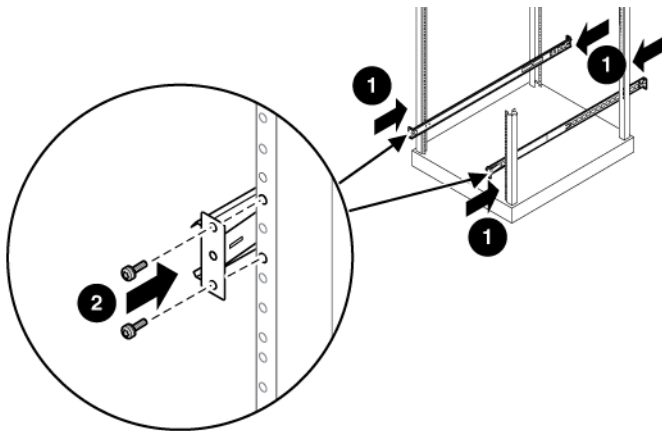


15114

図 19 10-32 ネジ穴が付いたラックからのピンの取り外し

注記: ラックレールの端には、正しく取り付けられるように FRONT と REAR の印が付いています。

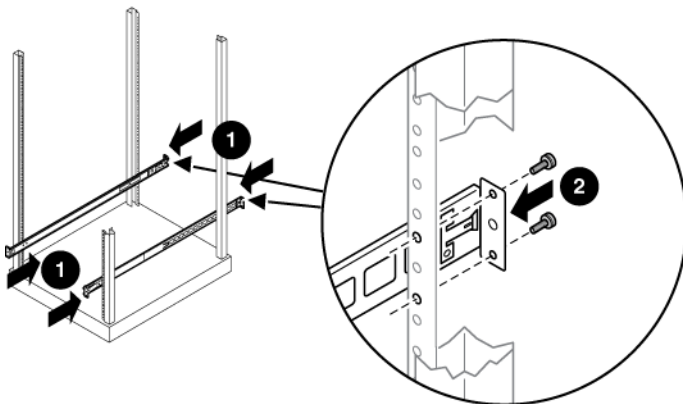
2. 外側の各レールのフロントマウント板を、4本の10-32ネジを使用して、ラックの垂直マウントバー(前側)の、あらかじめ印を付けた穴に取り付けます。



15119

図 20 前面のマウント用プレートの取り付け

3. 後方の垂直マウントバーを越すまでラックレールを引き出し、4本の10-32ネジを使用して、外側の各レールの後方マウント板を、ラックにあらかじめ印を付けた穴に取り付けます。

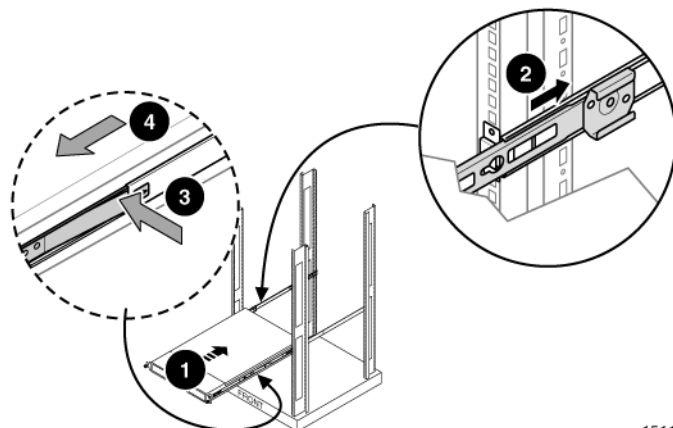


15120

図 21 10-32 ネジ穴が付いたラックでのレールの固定

取り付け作業の仕上げ

1. ラックに固定脚がある場合は伸ばします。
2. 左と右のラックレールをラックの前面から伸ばします。
3. メディアトレイ上のコンポーネントレールの後端とラックレールの前部分とを合わせて、エンクロージャーをラック内へ完全にスライドさせます。



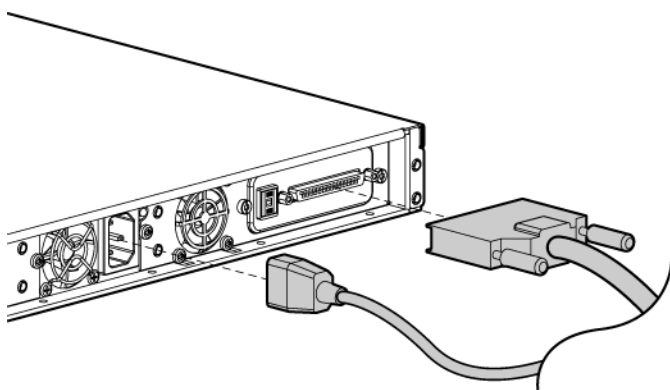
15111

図 22 取り付け作業の仕上げ

注意: コンポーネントレールをラックレールにスライドさせる場合、必ず、メディアトレイが床と平行になるようにしてください。メディアトレイを上下に傾けると、レールを壊してしまう場合があります。

注記: メディアトレイをラックから取り外す場合、背面のケーブルを取り外してください。両側にあるラッチを押して (3)、メディアトレイをラックから引き出します (4)。ラッチの位置については、取り付け作業の仕上げ (21 ページ) を参照してください。

4. フロントパネルのつまみネジを締めます。
5. ラックの固定脚を使用している場合は引っ込みます。
6. メディアトレイのリアパネルにある信号コネクタにサーバーの信号ケーブル (SAS または SCSI) を差し込みます。
7. AC 電源コードを電源コードコネクタに接続してから、アース付き電源コンセントに差し込みます。



15129

図 23 電源コードの接続

8. メディアトレイの片面または両面のラックレール後部にケーブルサポートクリップを取り付けます。

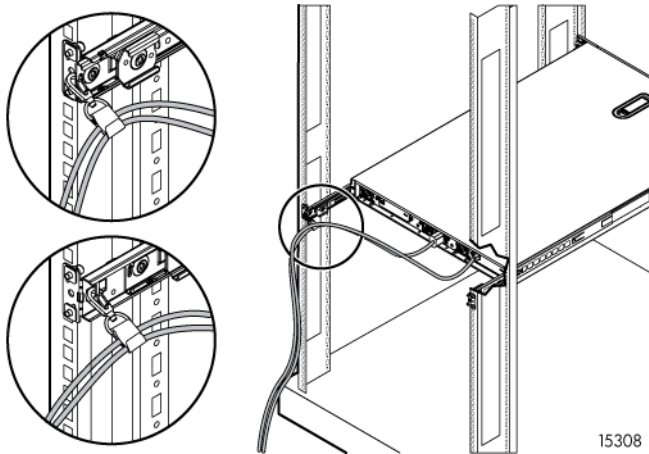


図 24 ケーブルサポートクリップの取り付け

9. フロントパネルの電源ボタンでメディアトレイに電源を入れます。

A 静電気対策

静電気放電の防止

システムの損傷を防ぐために、セットアップおよび部品の取り扱いの際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードやその他の静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、本体の耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずアースされている面にケースごと置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱いコンポーネントや部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

静電気による損傷を防止するためのアースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューター本体にアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1M\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
- 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
- 作業用具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がないときは、公認代理店にその部品のインストールをご依頼ください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、サポート窓口にお問い合わせください。

B 仕様

仕様	S.A.E.	メートル法
寸法:		
高さ	1.75 インチ	4.44cm
奥行き	25.25 インチ	64.1cm
幅	19.0 インチ	48.3cm
重量 (デバイスが 1 台取り付けられている場合)	20lb	9.07kg
入力電源要件	90~264VAC 2.4A 47~63Hz 140W	90~264VAC 2.4A 47~63Hz 140W
発熱量 (最大)	478BTU/hr*	478BTU/hr*
温度範囲		
動作時	41°~104° F	5°~40°C
非動作時	-40°~158° F	-40°~70°C
相対湿度		
動作時 (結露しないこと)	20~80%	20~80%
非動作時	5~95%	5~95%
湿球温度 (最大)	79° F	26° C
高度 (最高)		
動作時	0~15,000 フィート	0~4600m
非動作時	0~50,000 フィート	0~15200m
*入力電源と放熱効率の規格は最大値で、最大電力供給時のワーストケース条件に適合します。従って、ご使用のシステム構成の入力電力と発熱量は、装置の構成によって異なります。		

索引

S

SAS

ケーブルの構成, 13

SCSI

ケーブルの構成, 13

W

Web サイト

企業, 6

あ

アースの方法, 23

か

概要

1U メディアトレイの, 7

き

規則

表記上の, 5

本文中の記号, 5

機能

標準, 7

け

警告

ラック, 17

ラックに関する注意, 6

ケーブルの構成

1 つの SCSI バスに 1 台のデバイス, 14

1 つの SCSI バスに 2 台のデバイス, 13

SAS, 13

SCSI, 13

こ

コンポーネント

内部, 9

フロントパネル, 8

リアパネル, 8

し

仕様, 25

せ

静電気, 23

静電気対策, 23

アースの方法, 23

防止, 23

た

対象読者, 5

つ

ツール

ラック取り付け, 17

て

デジチェーン

メディアトレイ, 7

デバイス

取り付け, 11

と

取り付け

デバイス, 11

必要な工具, 17

メディアトレイ, 17

ルール, 17

な

内部コンポーネント, 9

ひ

表記上の

規則, 5

ふ

フロントパネル

コンポーネント, 8

へ

ヘルプ

入手, 6

ほ

本文中の記号, 5

ら

ラックシステム

サポート, 7

ラックに関する注意

警告, 6

ラックへの設置

警告, 17

メディアトレイ, 17

り

リアパネル

コンポーネント, 8

れ

ルール

取り付け, 17